

2024年3月期（第77期）

KVK

決算説明資料

2024年6月21日



株式会社 **KVK** 証券コード：6484

1

会社概要

2

2024年3月期 決算概要

3

2024年3月期の振り返り

4

2025年3月期の取り組みおよび将来展望

5

資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について

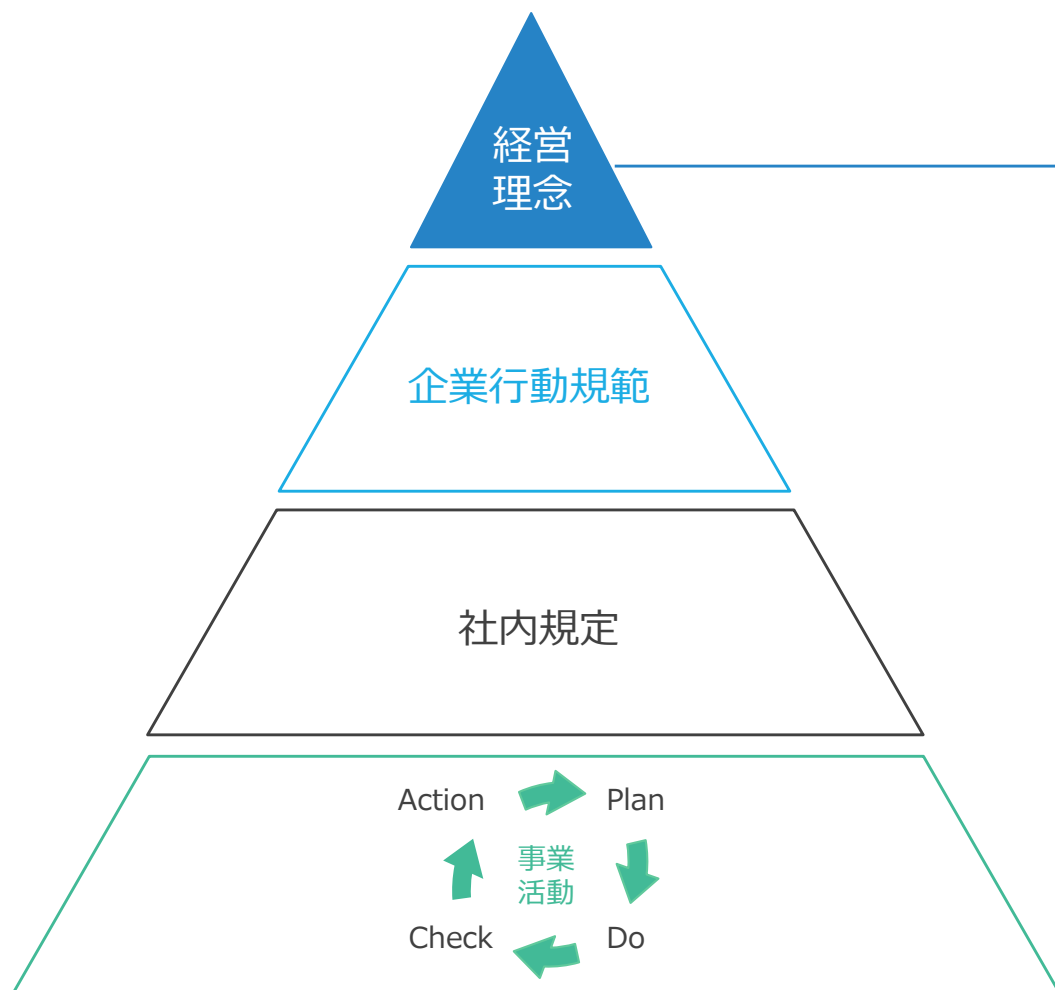
6

参考資料





会社概要



経営理念

- 良品 と 均質 —
- 信用 と 奉仕 —
- 協力 と 発展 —
- 安全 と 健康 —

良品と均質

当社は水栓金具の専門メーカーとして、品質が会社の生命線である事を自覚するとともに、人々の健康で豊かな文化的生活に貢献する。

信用と奉仕

役職員の全てが常に自己啓発に努め、社会から尊敬され信頼される人となる。
経営基盤の安定と成長を通して、株主及び地域社会に報いるとともに社会に奉仕する。

協力と発展

役職員の全てが常に知恵を結集し、事業は人なりの信念のもとに「人間尊重」を基本に人材育成に努め、あらゆる環境の変化に対応し、労使協力して社業の発展をはかる。

安全と健康

役職員の「安全」、地域社会の「安全」、製品の「安全」を最重要課題として取り組み、快適な職場作りに努め、心身共に健康で会社の発展を通じて個人の生活を豊かにする。

会社概要

会社情報（連結）

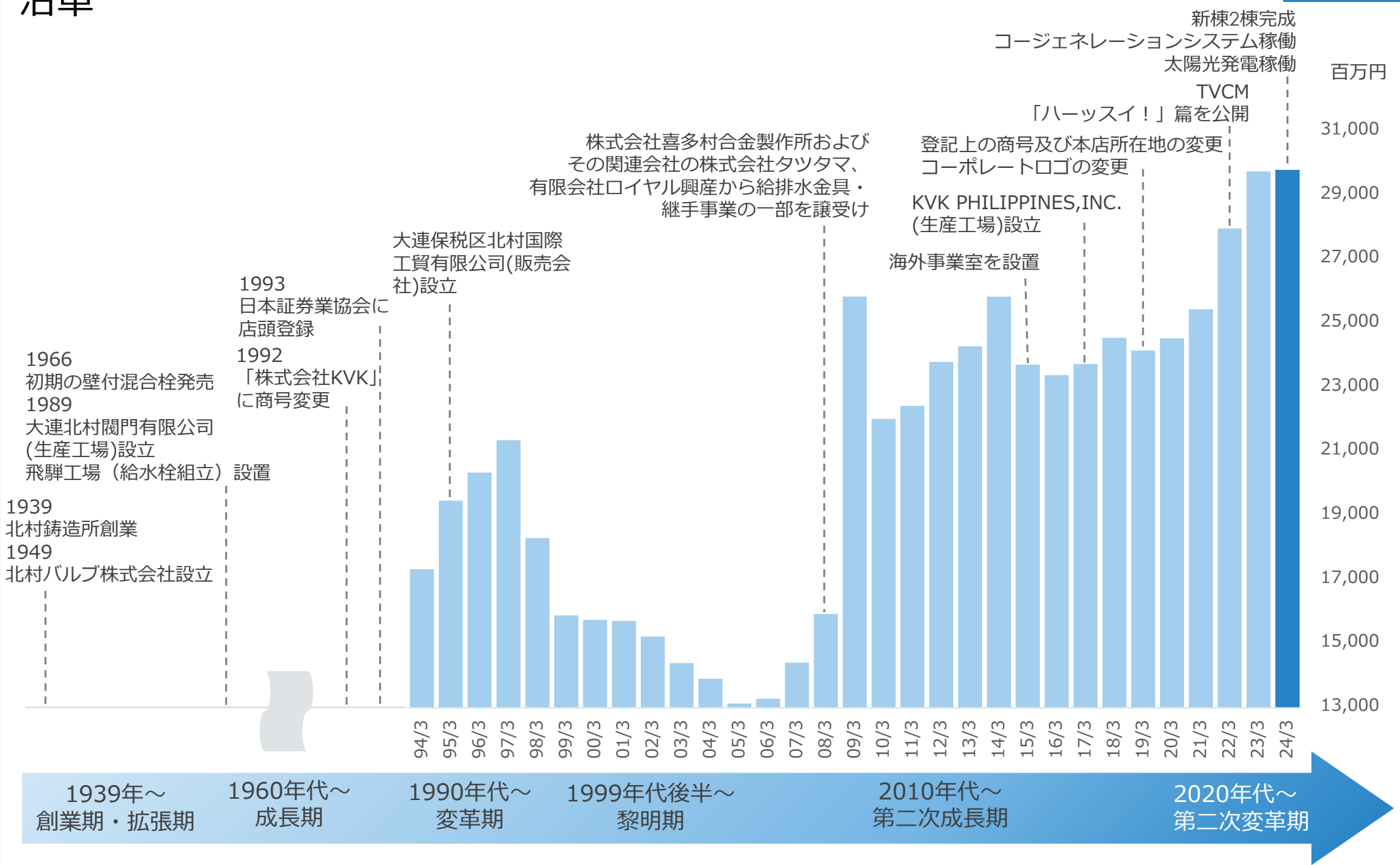
社名	株式会社KVK
代表者	代表取締役社長 末松正幸
創業	1939年2月5日
資本金	2,854百万円
事業内容 (主要製品)	水栓製造販売 (水栓金具、継手・排水金具、水栓部品)
本社所在地	岐阜県加茂郡富加町高畑字稻荷641番地
グループ会社	大連北村閥門有限公司（中国） KVK PHILIPPINES,INC.（フィリピン）
従業員数	1,242人 2024年3月31日現在



沿革

売上高

百万円



1939 北村鋳造所創業
1949 北村バルブ株式会社設立

1966 初期の壁付混合栓発売
1989 大連北村閥門有限公司(生産工場)設立
飛驒工場(給水栓組立)設置

1992 「株式会社KVK」に商号変更
1993 日本証券業協会に店頭登録

大連保税區北村國際工貿有限公司(販売会社)設立

株式会社喜多村合金製作所およびその関連会社の株式会社タツタマ、有限会社ロイヤル興産から給排水金具・継手事業の一部を譲受け

KVK PHILIPPINES, INC. (生産工場)設立
海外事業室を設置

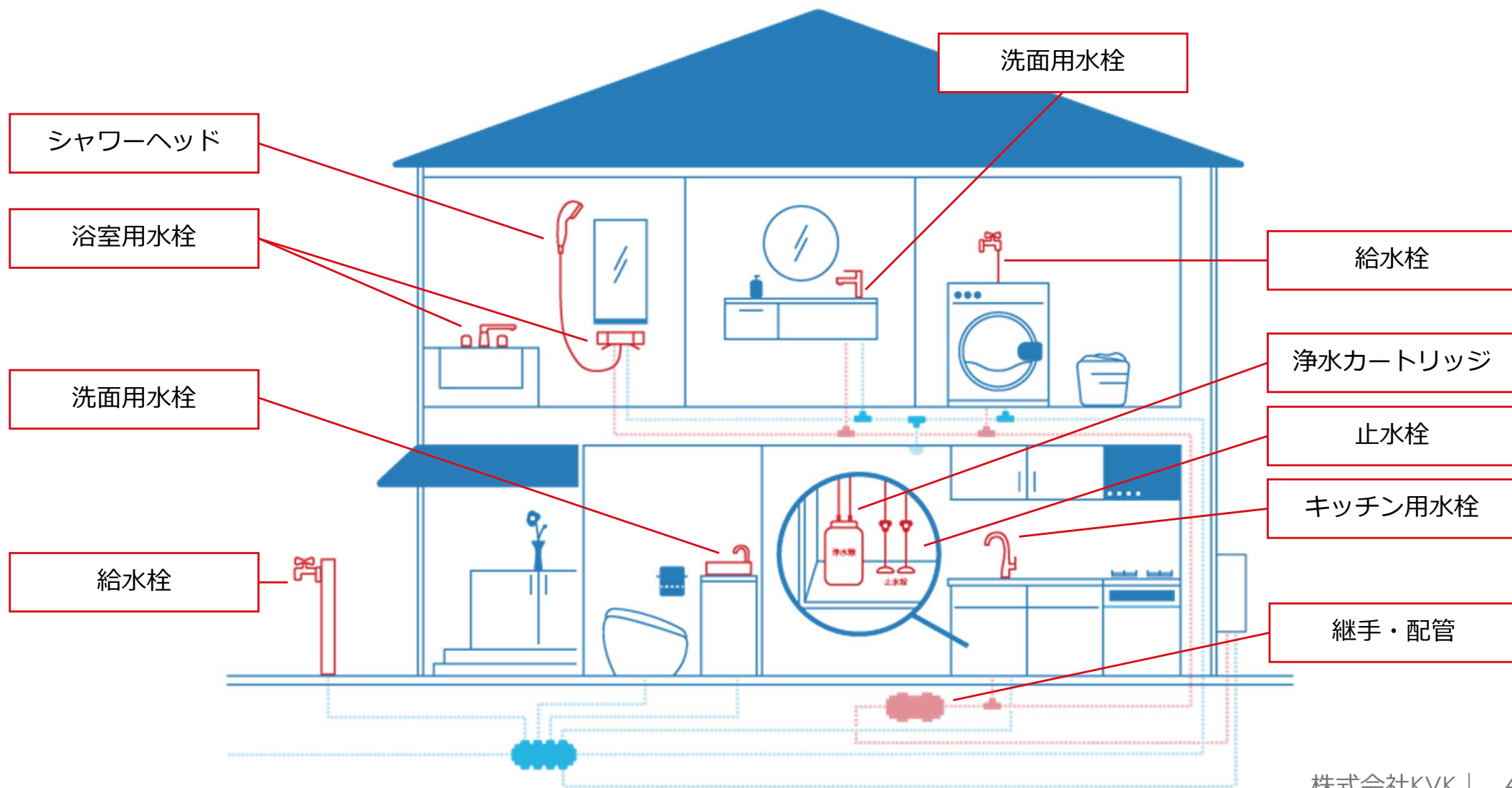
登記上の商号及び本店所在地の変更
コーポレートロゴの変更

「ハーツスイ！」篇を公開
TVCM
新棟2棟完成
コージェネレーションシステム稼働
太陽光発電稼働

1939年～創業期・拡張期 1960年代～成長期 1990年代～変革期 1999年代後半～黎明期 2010年代～第二次成長期 2020年代～第二次変革期

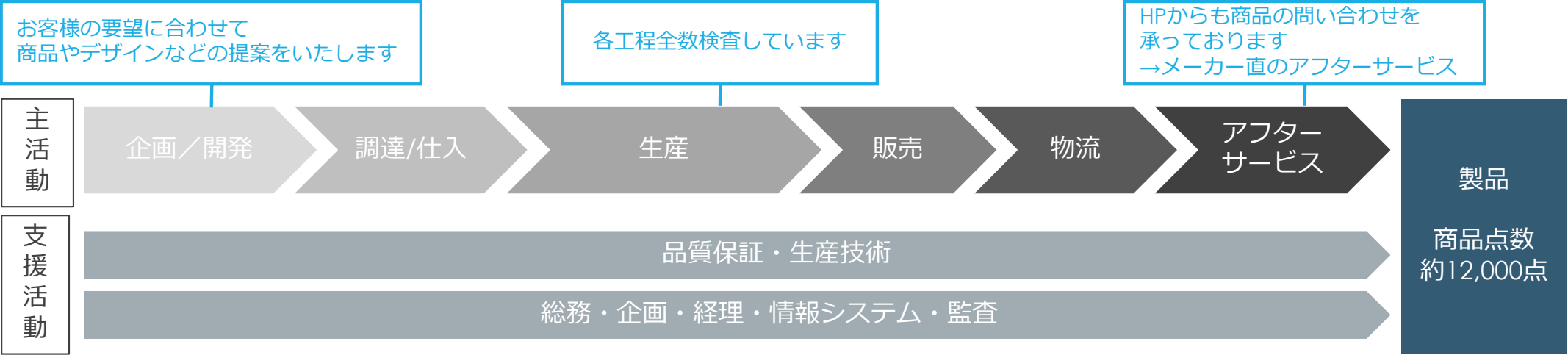
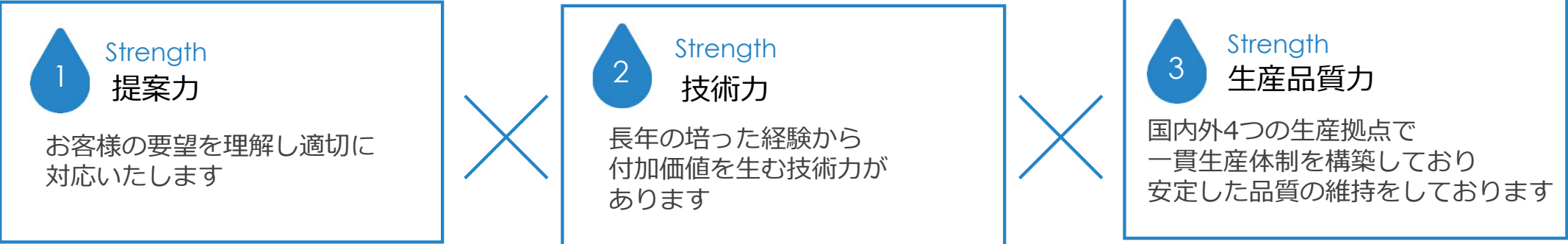
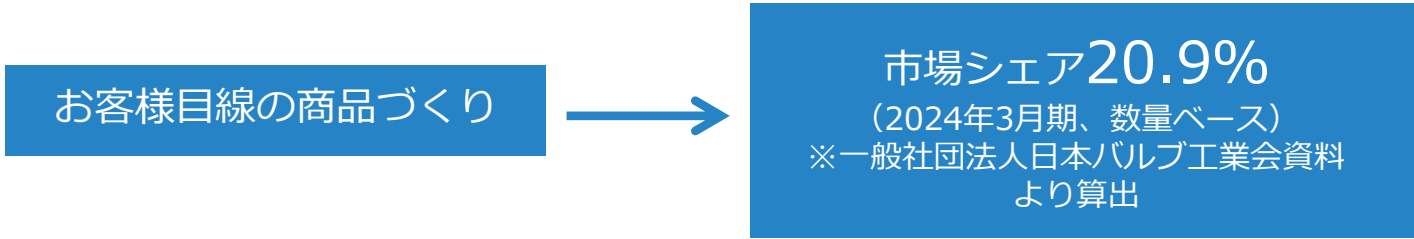
こんなところにKVK

「防災設備」を含めた「床上」から「床下」まで、
"家一軒まるごと水まわり"をプロデュースする水栓金具専門メーカーです。



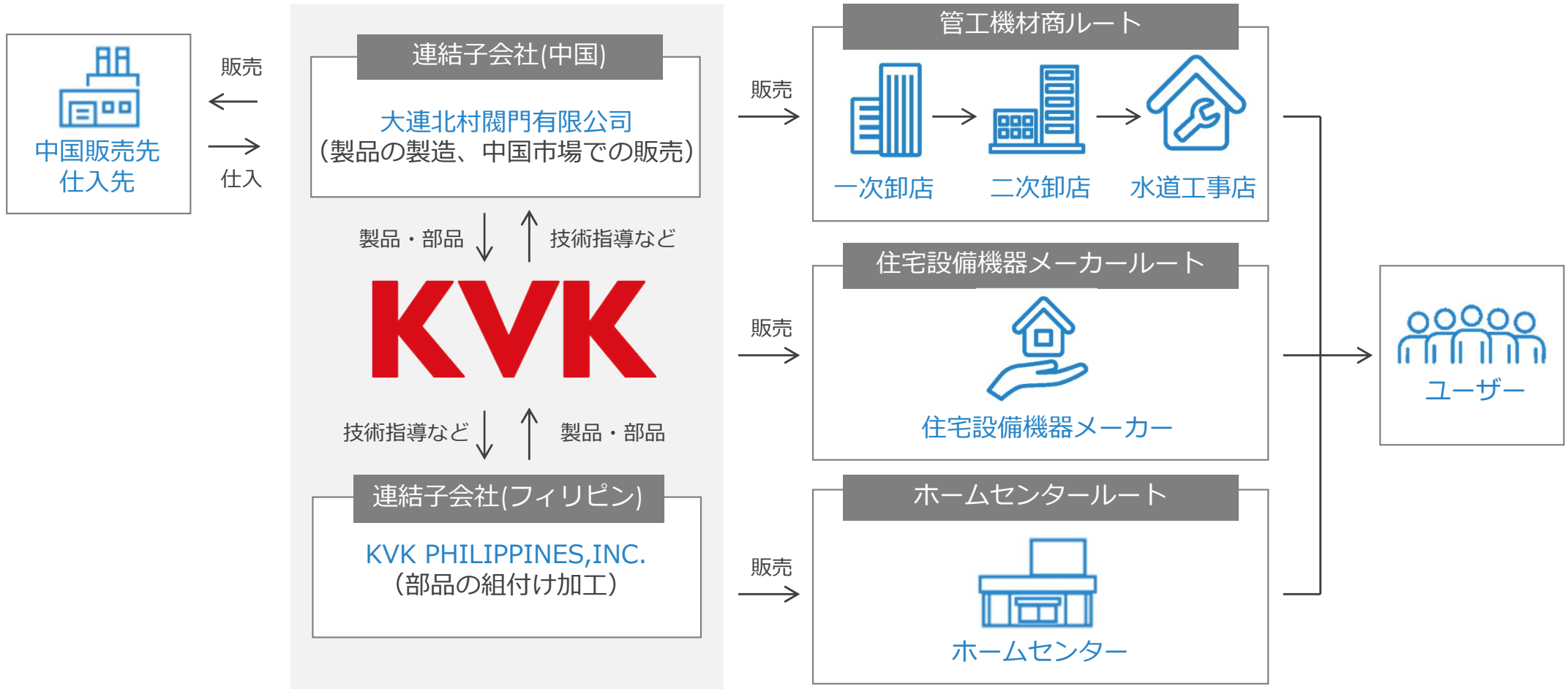
KVKの強み

KVKは、1939年にバルブコックの製造メーカーとして創業以来、日々の生活に欠かすことができない水回りを担う水栓メーカーとして、高品質で信頼されるモノづくりを追求しております。



KVKの強み～販売ルート

創業以来85年に渡り、高い品質と対応力を持ってお客様との信頼を築いてきました。





2024年3月期 決算概要

業績サマリ

売上高

29,799百万円
(前年同期比+0.2%)

営業利益

2,530百万円
(前年同期比+3.3%)

経常利益

2,866百万円
(前年同期比+9.6%)

当期純利益

1,980百万円
(前年同期比+11.7%)

業績概況

売上高は、5期連続増収且つ過去最高を更新。

住宅市場は、国内、中国ともに低調に推移するなか、販売数量は減少。
数回にわたる商品価格の改定により、原価アップを吸収し利益率は改善。

2024年3月期 決算概要

決算概要

数回にわたる商品価格の改定により、営業利益は前期比3.3%増、投資有価証券売却益もあり経常利益は前期比9.6%増、新棟建築に関わる税制優遇を活用したことにより、税負担が減少し、当期純利益は前期比11.7%増。ROEは前期比0.3ポイント増加し、7.7%。

百万円	2023年3月期 実績		2024年3月期 実績		業績予想	前年同期比		業績予想比	
	金額	売上高 構成比	金額	売上高 構成比		増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	29,742	100.0%	29,799	100.0%	31,000	+57	+0.2%	▲1,200	▲3.9%
営業利益	2,450	8.2%	2,530	8.5%	2,500	+79	+3.3%	+30	+1.2%
経常利益	2,615	8.8%	2,866	9.6%	2,600	+251	+9.6%	+266	+10.3%
当期純利益	1,773	6.0%	1,980	6.6%	1,800	+206	+11.7%	+180	+10.0%
ROE	7.4%	—	7.7%	—	—	—	—	—	—

想定為替レート 2023年3月期：18.1円/元 2024年3月期：20.4円/元

四半期別決算概要

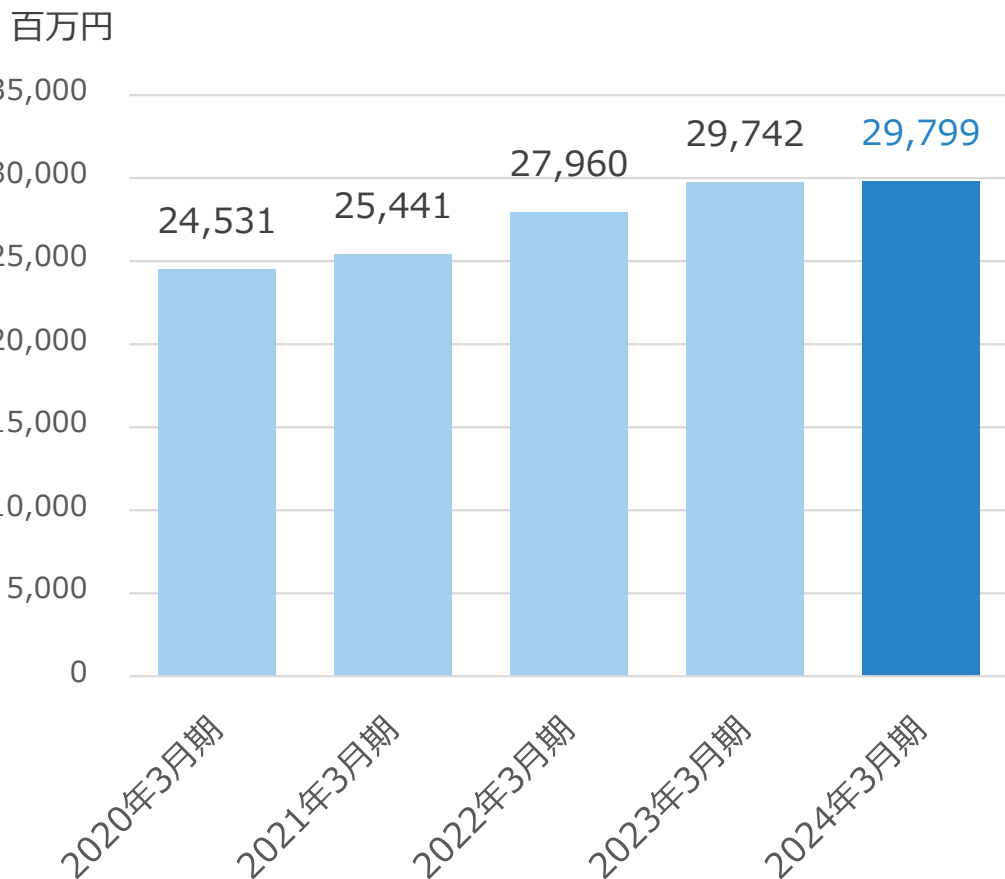
2023年10月からの一部の商品の価格改定により2024年3月期3Qからの売上げに貢献。2024年3月期4Qに関しては暖冬の影響で冬季の凍結需要があまり見込めず2023年3月期4Qと比較し減収となった。

百万円	2023年3月期実績				2024年3月期実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,070	7,318	7,473	7,879	7,619	7,023	7,724	7,431
営業利益	369	423	619	1,037	667	434	667	759
経常利益	385	457	708	1,063	674	451	763	977
当期純利益	258	308	466	739	405	303	490	781

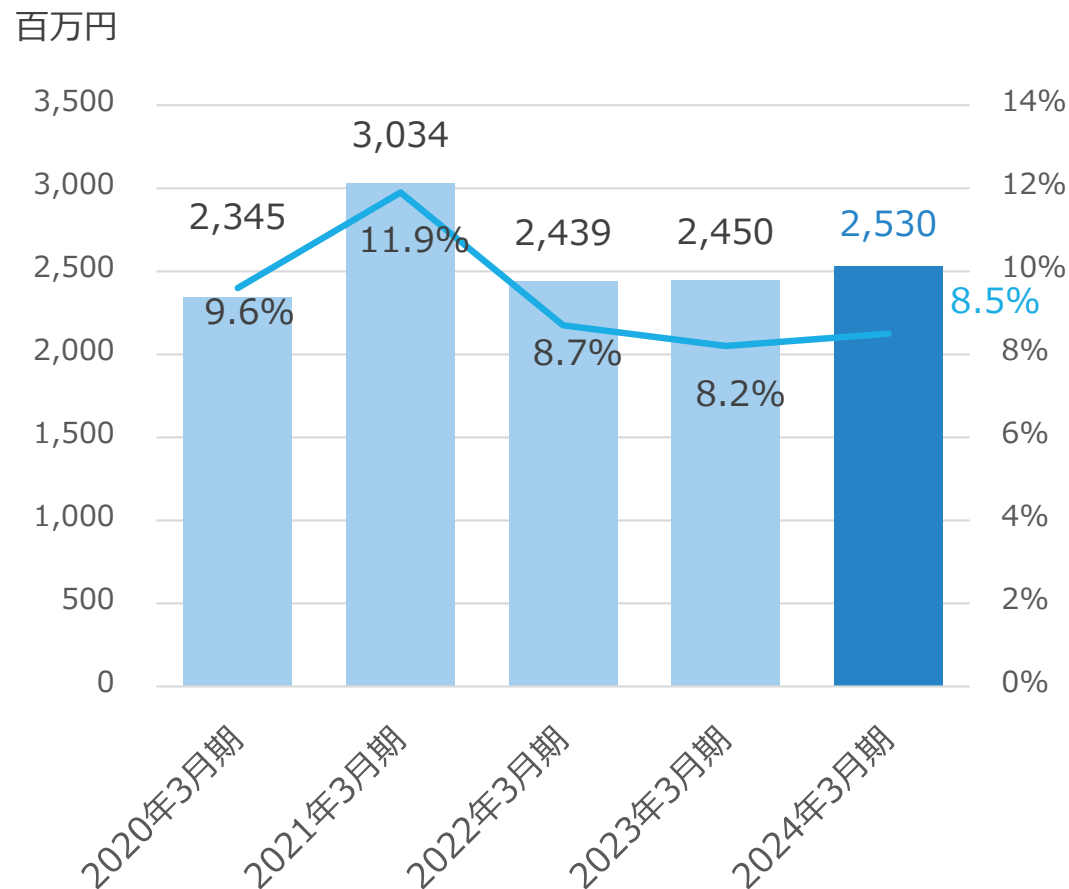
業績推移

売上高は、5期連続増収且つ過去最高を更新。
営業利益は、2期連続増益。

売上高



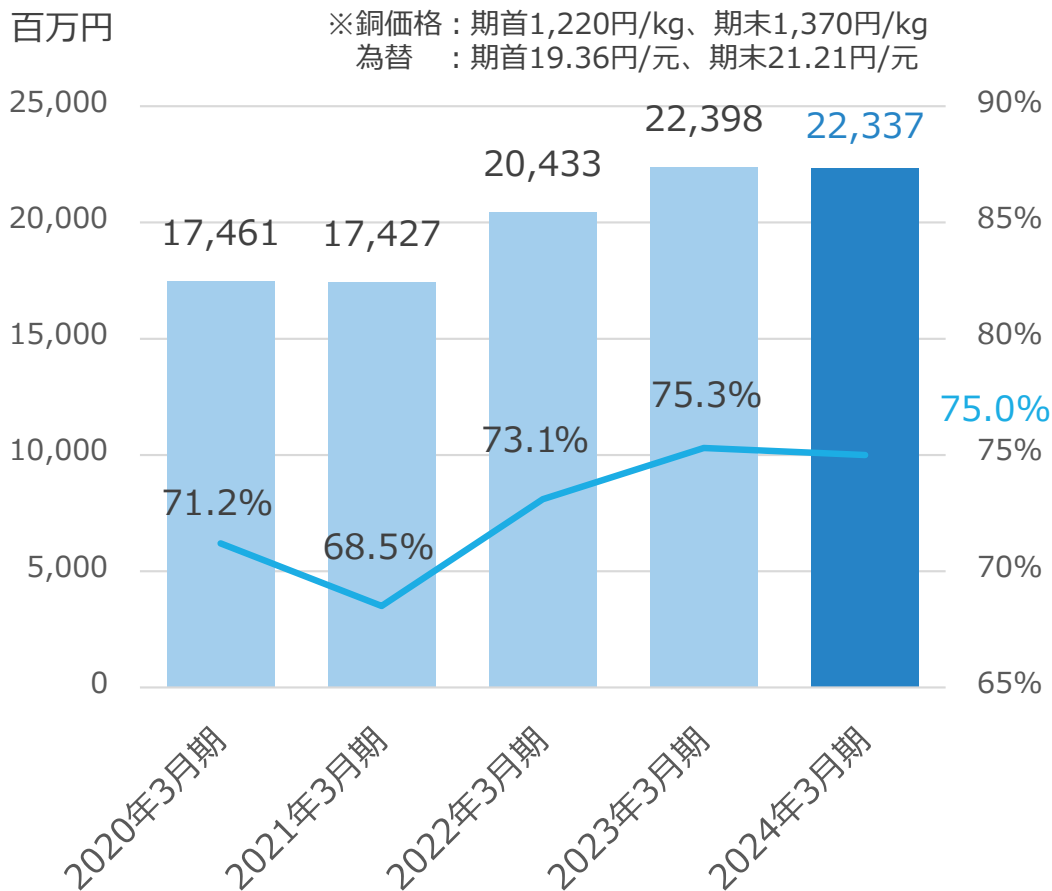
営業利益



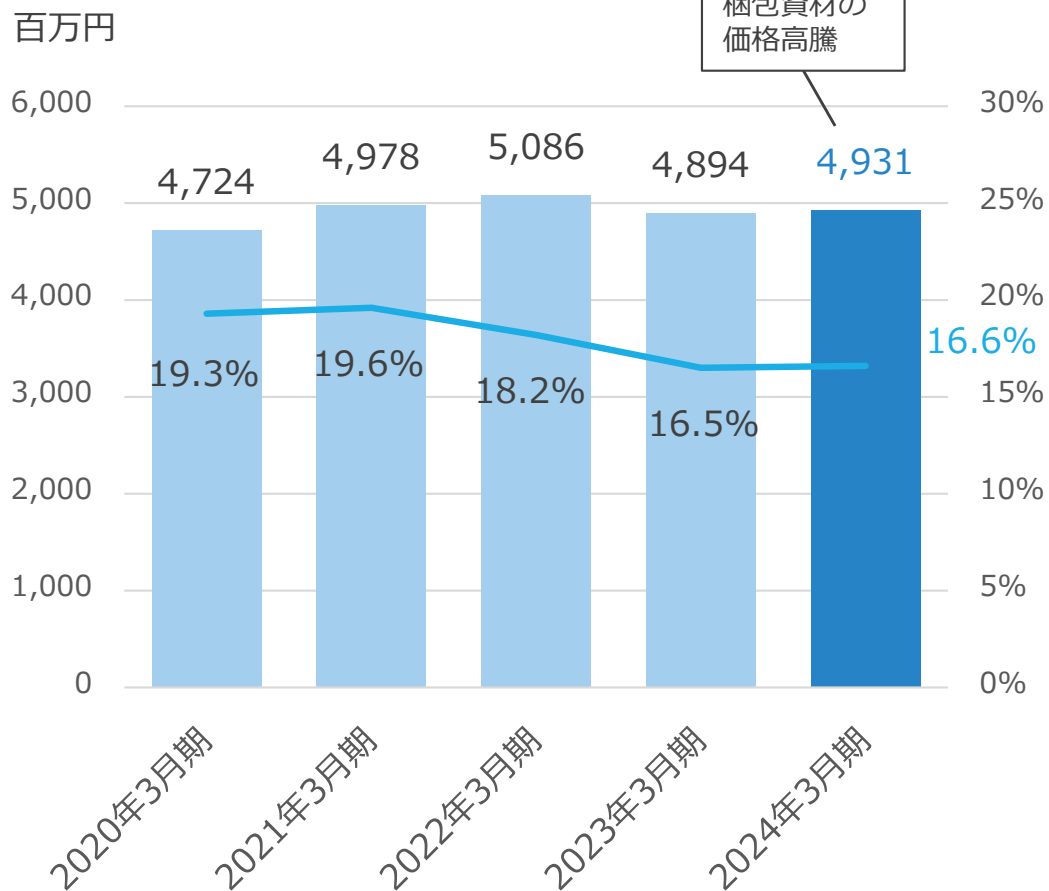
コスト推移

売上原価は売上高比75%程度で推移。販管費は固定費が大半であり大きな変動は無し。

売上原価



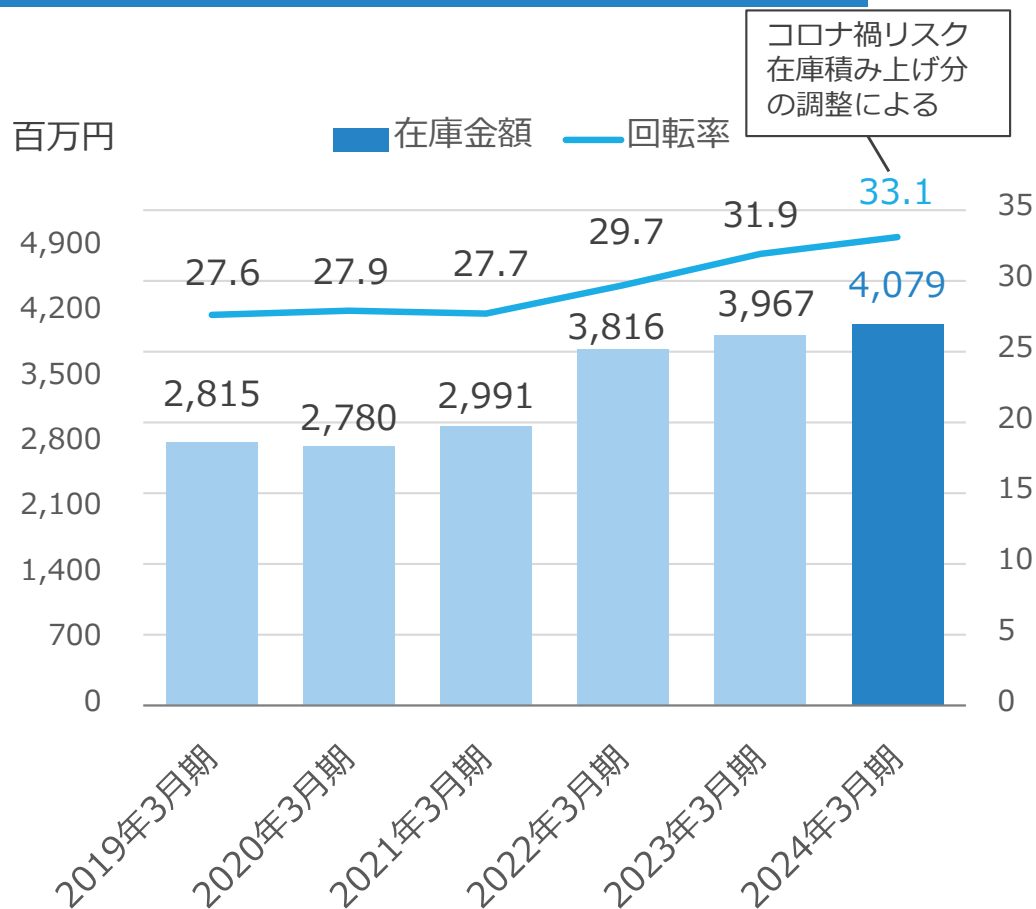
販管費



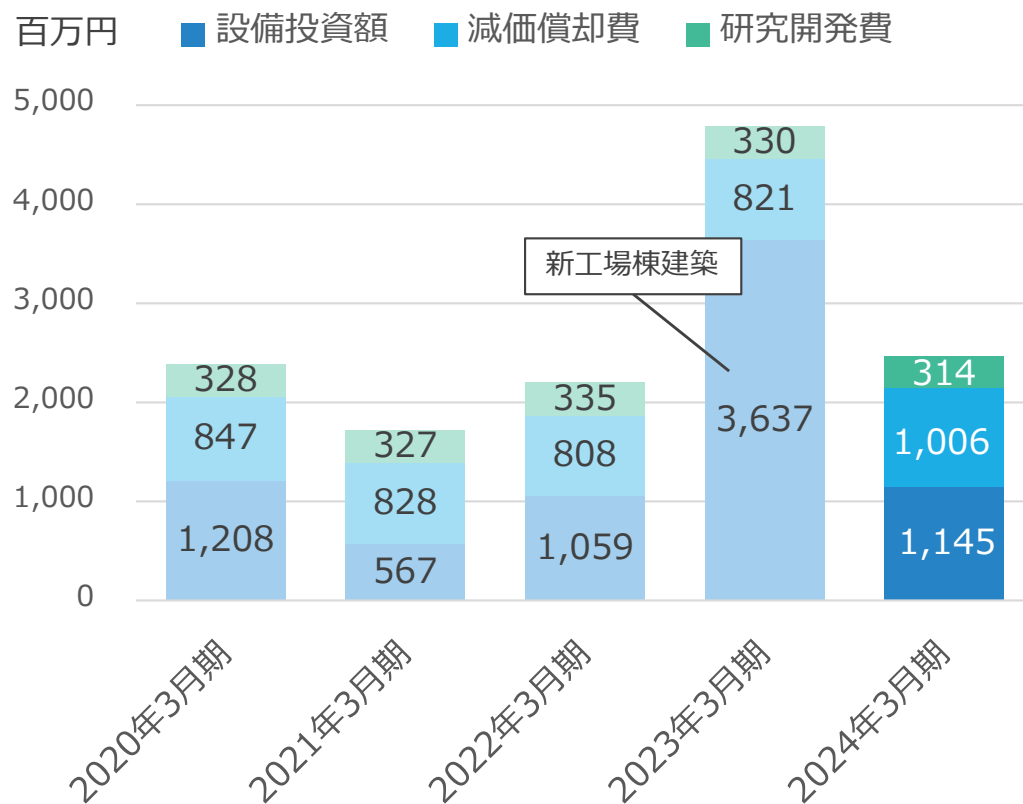
経営指標

在庫金額は前年比+112百万円、設備投資額は前年比▲2,492百万円、減価償却費は前年比+186百万円、研究開発費は前年比▲16百万円。

在庫金額・在庫回転日数

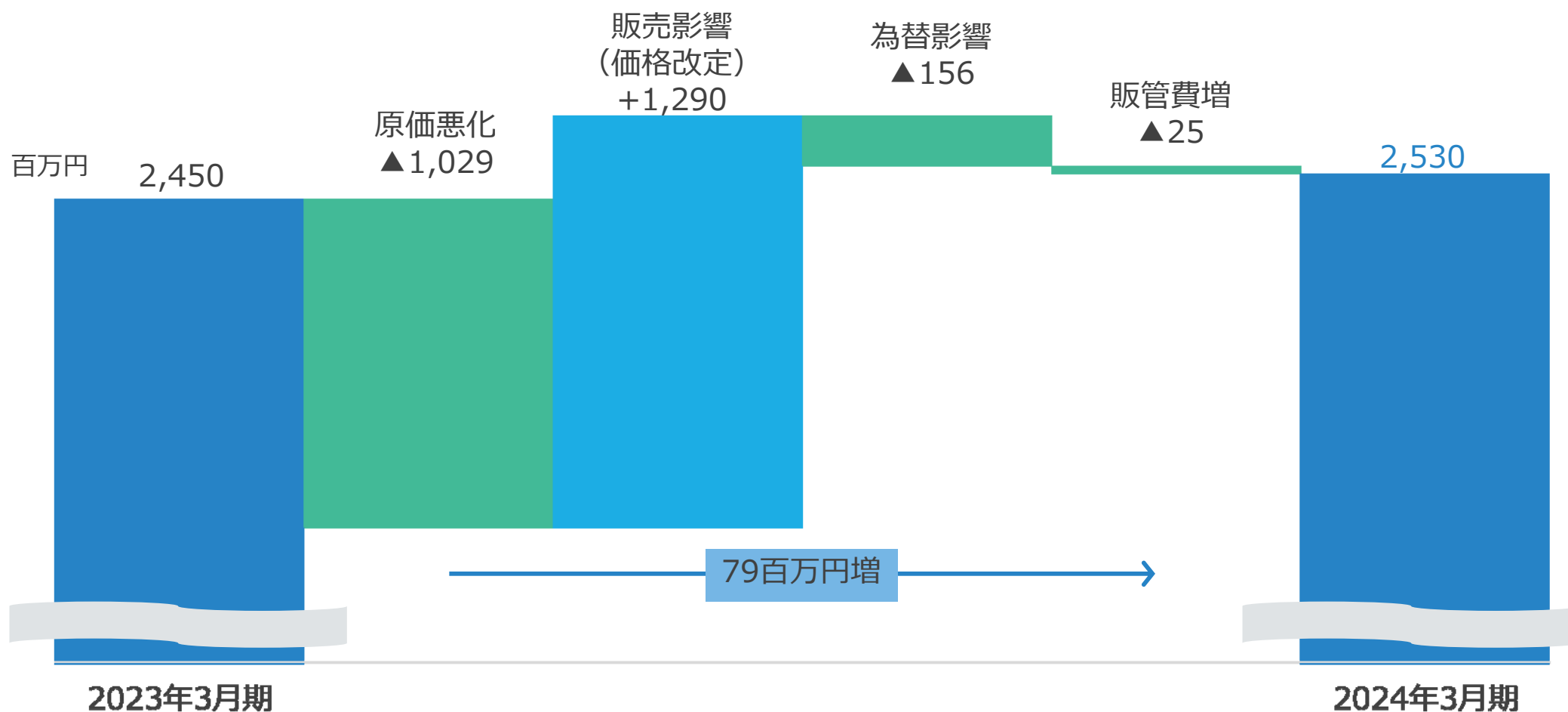


設備投資・減価償却費・研究開発費 (連結)



連結営業利益増減要因分析

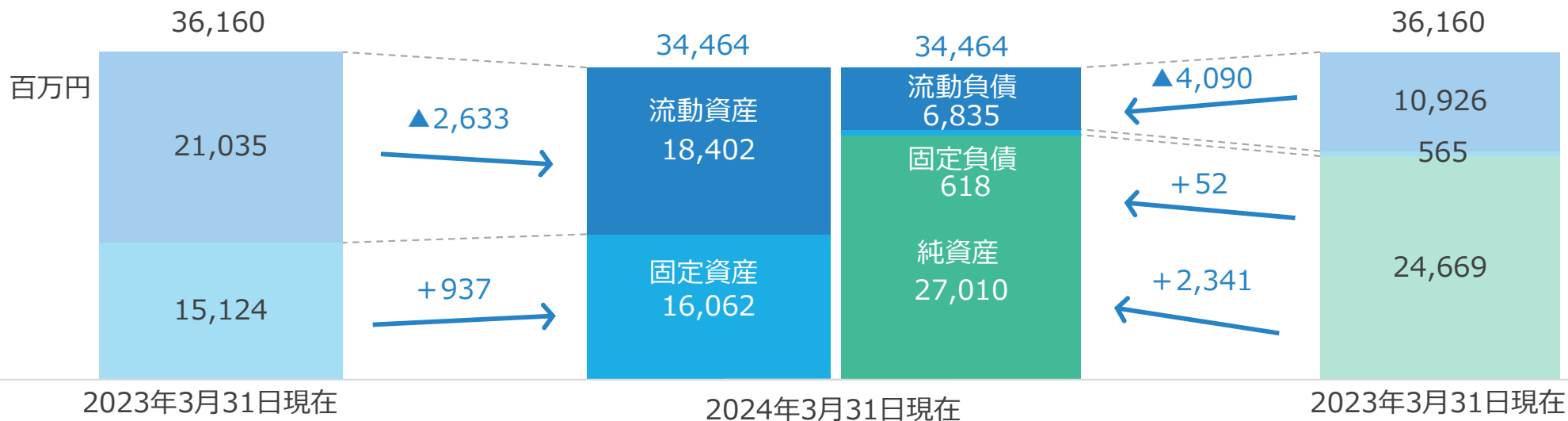
仕入れコスト増加の影響で原価悪化した分を販売影響（価格改定）にて補填。
想定為替レート：20.4円/元



連結貸借対照表

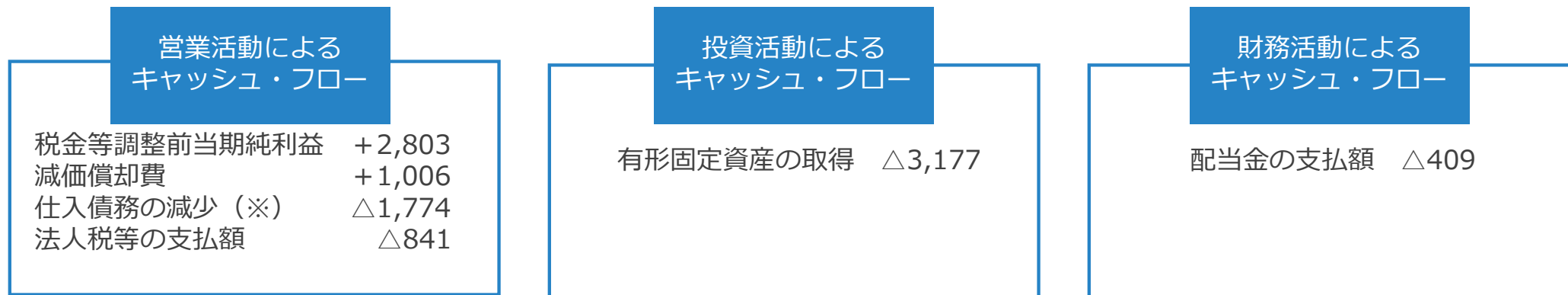
流動比率は、前期末に比べ、76.7ポイント増加し、269.2%。
 自己資本比率は、前期末に比べ、10.2ポイント増加し、78.4%。
 1株当たり純資産額は、前期末に比べ、282円7銭増加し、3,388円20銭。

資産の部 ▲1,696		負債の部 ▲1,696		
流動資産	現金及び預金の減少 (支払手形及び電子記録債務 サイトの短縮)	▲2,893	流動負債	仕入債務の減少 ▲1,809 営業外電子記録債務 ▲1,598
	固定資産	建物及び構築物の増加 +1,906 機械装置及び運搬具の増加 +1,297 投資有価証券の増加 +520 建設仮勘定の減少 ▲3,203	純資産	利益剰余金の増加 +1,510

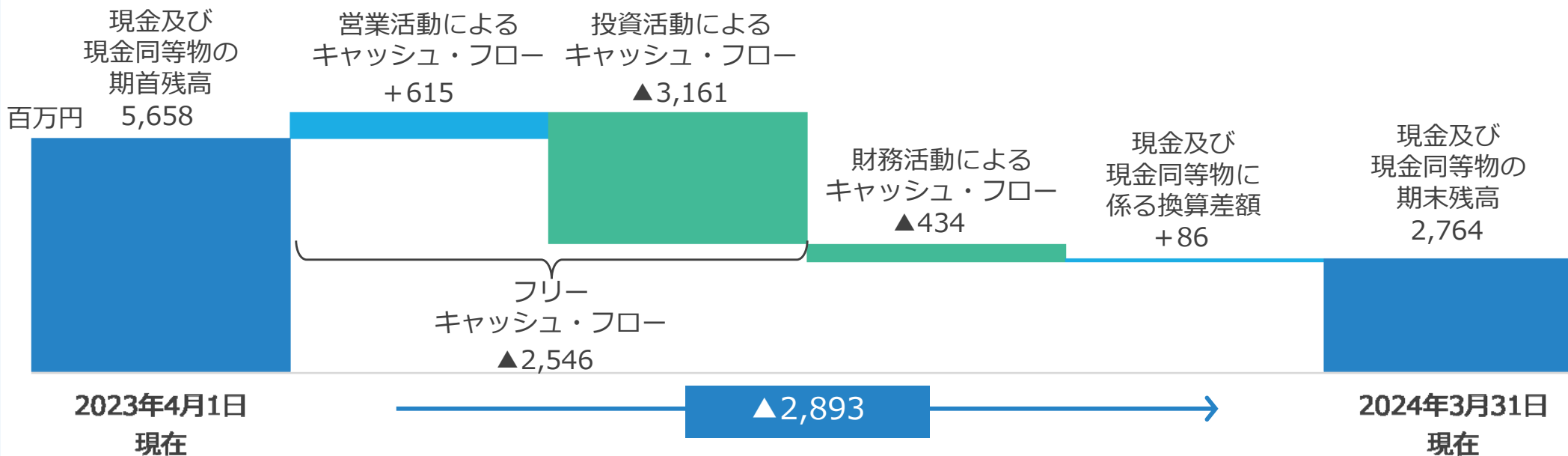


連結キャッシュフローの概要

新工場棟に関わる設備投資が発生し、現金及び現金同等物の期末残高は期首に比べ2,893百万円減少。



※支払手形及び電子記録債務サイトの短縮





2024年3月期の振り返り

中長期経営方針の概要

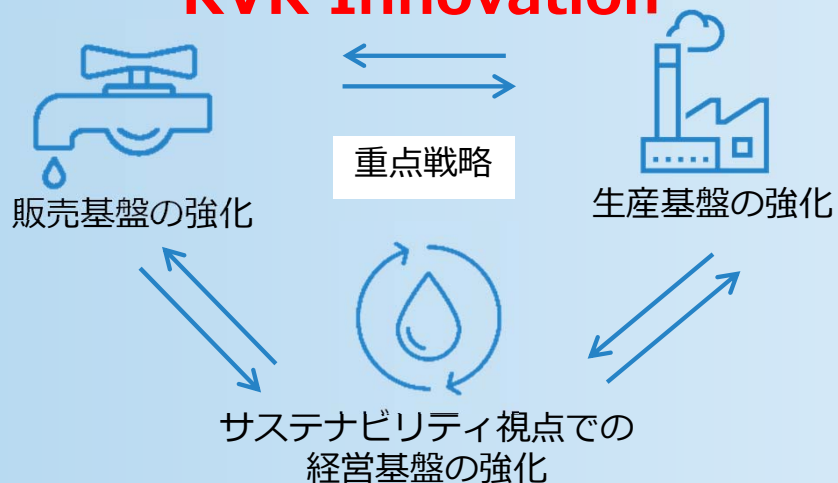
Innovation for 2022

2023年3月期実績

売上高	297億円
営業利益率	8.2%
ROE	7.4%

2023~2025年度 中期経営計画

KVK Innovation



2024年3月期実績		2026年3月期目標	
売上高	297億円	売上高	360億円
営業利益率	8.5%	営業利益率	10%
ROE	7.7%	ROE	10%

Vision 2030

KVKブランド価値を高め、世界中の人々から必要とされる水まわりのリーディングカンパニーを目指します

水まわり商品を通して日常に彩りを加え、
安らぎと団らんのある暮らしに貢献します

重点戦略

環境に配慮した商品を提供する事業活動を通じて、持続的な社会への貢献と企業価値の向上を目指す



販売基盤の強化

- ①既存商流の売上基盤の維持・強化
- ②市場ニーズに合った中高級品の販路拡充
- ③海外市場の新規拡大および既存顧客深耕



生産基盤の強化

- ①高効率な生産体制によるコスト競争力強化および安定供給体制の構築
- ②DX推進による生産性向上



サステナビリティ視点での
経営基盤の強化

- ①環境配慮型商品および使いやすさを追求した製品の開発
- ②多様な人財が活躍するためのキャリア形成支援の強化およびワークライフ・バランスの向上
- ③生産活動における温室効果ガス排出の削減および環境負荷物質・廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ④地域社会への参画と貢献
- ⑤透明性・健全性の高い経営体制づくりとそのチェック機能の充実

中期経営計画に基づく振り返り



国内は新設住宅着工戸数が低調な推移のなか、価格改定や高付加価値商品の提案により増収
 海外は上海展示会出展やSNSによる情報発信を行ったものの中国の不動産市況低迷、アジア市況低迷により減収

戦略	中期経営課題	評価	振り返り
①既存商流の売上基盤の維持・強化	1)営業エリア別の取引シェアの維持・向上 2)川上営業による、KVKのファンづくりの推進	○	管工機材ルート、住宅設備機器メーカーへの高付加価値商品の提案 適時適切な商品への価格転嫁 2023年3月期売上高29,742百万円→2024年3月期29,799百万円（前期比0.2%増）
②市場ニーズに合った中高級品の販路拡充	1)お客様より指名買いされるような付加価値の高い商品の開発 2)市場ニーズに合った高付加価値商品の販路拡充	○	撥水膜コーティングを施した水栓、センサー水栓、ウルトラファインバブルシャワーなど高付加価値商品のラインアップを増やし、新築ならびにリフォームの取替需要に対応
③海外市場の新規拡大および既存顧客深耕	1)既存顧客深耕と新規取引の開拓による海外売上拡大 2)海外営業体制構築に向けた取り組み	△	2023年5月上海にて開催された「第28回中国国際キッチン&バス設備展覧会」に出展 中国、アジア市況低迷により海外売上高は減収

中期経営計画に基づく振り返り



新工場棟2棟は、射出成型機と樹脂めっき設備を導入し本格稼働開始

戦略	中期経営課題	評価	振り返り
①高効率な生産体制によるコスト競争力強化および安定供給体制の構築	1)変種減量に迅速・柔軟に対応でき、利益を生む生産体制の確立 2)自動化推進による生産性向上 3)調達先の見直しによる為替リスクやサプライチェーンリスク対策	◎	本社、飛騨古川、中国大連、フィリピンによる最適地調達・最適地生産の推進 自動化の推進 新工場棟2棟が完成し射出成型機と樹脂めっき設備を導入し稼働開始
②DX推進による生産性向上	1)デジタル技術およびデータ活用による業務の効率化	○	自動化ライン稼働率向上に向けたデータ取りおよび解析 間接部門の社内基幹システム刷新による業務効率化と標準化の推進

中期経営計画に基づく振り返り



新工場棟の建築と同時にコージェネレーションシステム設備および太陽光発電パネルの設置を行い、稼働開始。工場に電気を供給すると同時に、ガスエンジンから発生する熱を活用し蒸気を発生させ、エネルギーとして有効活用し、エネルギー使用量と二酸化炭素排出量を削減

戦略	中期経営課題	評価	振り返り
①環境配慮型商品および使いやすさを追求した製品の開発	1)リサイクルを前提(分解可能な構造)とした製品設計・開発 2)JIS規定された節湯水栓(エコ商品)の展開 3)海外規格、海外環境規制に適合した商品の販売	○	リサイクルを前提とした製品設計・開発 標準仕様で節湯対応 海外規格、海外環境規制に適合した商品の販売
②多様な人材が活躍するためのキャリア形成支援の強化およびワークライフ・バランスの向上	1)次世代リーダーの育成 2)中核人材の安定的な確保 3)エンゲージメントの向上 4)男性の育児休暇取得率向上 5)多様な働き方の選択肢 6)日本在住の多国籍人材の登用	△	中途採用人数：30名 管理職研修・管理職候補者研修実施 エンゲージメント調査実施 育児休暇取得率 男性：40%、女性：100% 女性選抜メンバーによる定期意見交流会実施（キャリア形成支援やワークライフ・バランスの向上に向けて議論）

中期経営計画に基づく振り返り



戦略	中期経営課題	評価	振り返り
③生産活動における温室効果ガス排出の削減および環境負荷物質・廃棄物の削減とリサイクルの推進	1)CO2排出量の削減 (Scope1,2) 2)リサイクル率の向上	○	コージェネレーションシステム設備および太陽光発電パネルの稼働によりエネルギー使用量と二酸化炭素排出量を削減 CO2排出量：年間排出量の11.5%削減
④地域社会への参画と貢献	1)地域社会への参画と貢献	○	公益財団法人KVK福祉会の運営 →地域の生活保護世帯の生徒・学生に対する奨学金、学用品の支給 地域清掃活動の実施 地域交通安全活動の実施 地域行事への協賛 ふるさと納税の運用
⑤透明性・健全性の高い経営体制づくりとそのチェック機能の充実	1)取締役会の実効性向上 2)リスク管理体制の強化	○	リスク管理委員会を年2回開催し、重要なリスクに関しては取締役会及び経営会議に報告し必要な協議・決議を行う

中期経営計画に基づく振り返り



販売基盤の強化

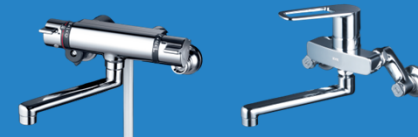
①既存商流の売上基盤の維持・強化

新設住宅着工戸数の減少に伴い（シャワー付）湯水混合水栓が減少。引き続き伸ばしていく

品目別売上高

2024年3月期 (29,799百万円)	9,525 (32.0%)	12,274 (41.2%)	3,619 (12.1%)	4,381 (14.7%)
2023年3月期 (29,742百万円)	9,610 (32.3%)	12,516 (42.1%)	3,328 (11.2%)	4,287 (14.4%)
2022年3月期 (27,960百万円)	8,931 (31.9%)	11,264 (40.3%)	3,321 (11.9%)	4,443 (15.9%)

シャワー付湯水混合水栓



湯水混合水栓



単独水栓



その他



中期経営計画に基づく振り返り

②市場ニーズに合った中高級品の販路拡充

付加価値の高い商品の開発—主な新製品

1 センサー水栓 ラインアップ拡充

コロナ渦の影響で注目が高まったセンサー付水栓において、浄水側・原水側ともにセンサーで吐止水できる水栓を開発。



2 ウルトラファインバブル シャワーヘッドの ラインアップ拡充

ウルトラファインバブルシャワーヘッドのhadamoシリーズにワンストップ機能付、浄水機能付が新登場。また、大型フェイスで贅沢に浴びるGshowerが2024年7月発売予定。



3 撥水膜コーティング水栓の ラインアップ拡充

キッチン水栓において中高級グレードを中心に展開していたが、標準グレードにおいても撥水膜コーティングを施し発売。



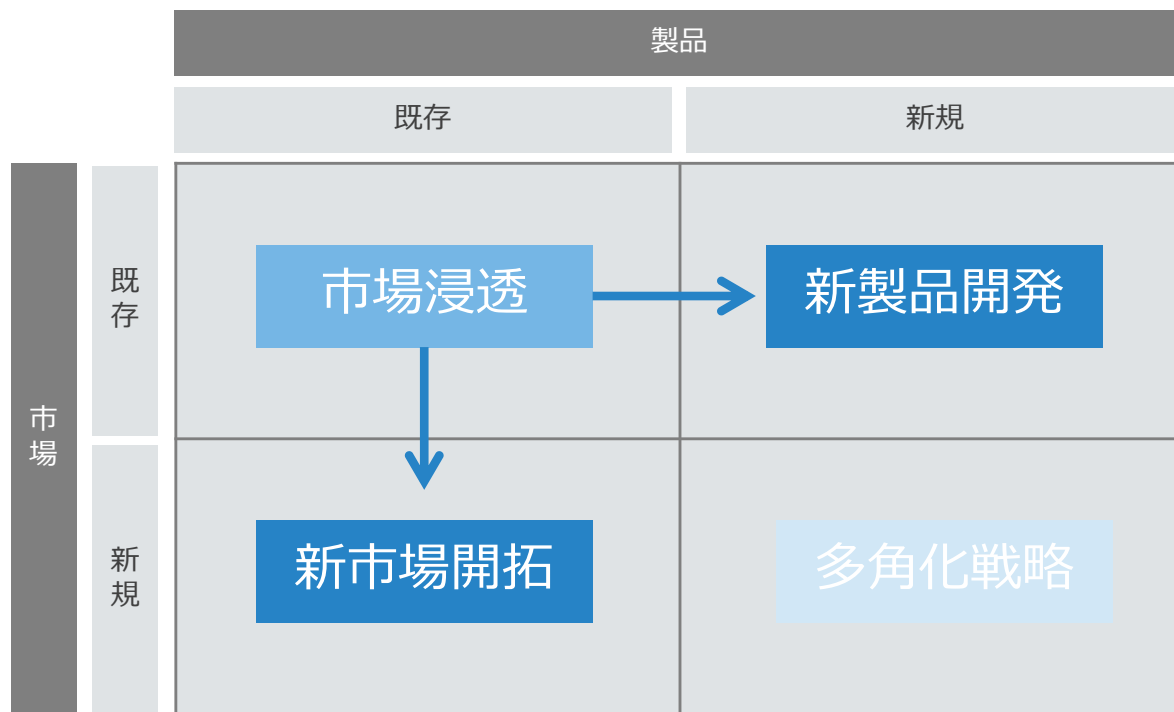


2025年3月期の取り組みおよび将来展望

販売基盤の強化の取り組み

- ①既存商流の売上基盤の維持・強化
- ②市場ニーズに合った中高級品の販路拡充

BtoCを意識した川上営業により顧客ニーズを吸い上げた高付加価値商品の提案
お客様より指名買いされるような付加価値の高い商品の開発
国内、海外の販売基盤を強化し売上拡大を目指す



市場ニーズに合った
高付加価値商品の販路拡充



海外市場の新規取引
先の開拓
および
顧客基盤の
拡充・深耕



2025年3月期の取り組みおよび将来展望

販売基盤の強化の取り組み

③海外市場の新規拡大および既存顧客深耕

中国・東南アジア市場の新規取引先の開拓と顧客基盤の拡充・深耕、KVKブランド認知度アップ

「第29回中国国際キッチン&バス設備展覧会2024」出展



※写真：「中国国際キッチン&バス設備展覧会2024」KVKブース

生産基盤の強化の取り組み

KPS (KVK Production System) 活動の推進
(多品種少量に迅速・柔軟に対応でき、利益を生む生産体制の確立)

- ① 高効率な生産体制によるコスト競争力強化および安定供給体制の構築
- ② DX推進による生産性向上

1 国内外4つの生産拠点 新工場棟2棟の生産ライン立上げおよび本稼働

本社、飛騨古川、中国大連、フィリピンによる最適地調達・最適地生産の推進
新工場棟を活用した、高効率な生産体制づくり

日本
拠点



海外
拠点



2 自動化による生産性向上

主要部品生産ラインの自動化の推進
自動化ライン稼働率向上に向けた取り組み

3 デジタル技術およびデータ 活用による業務の効率化

自動化ライン稼働率向上に向けた
データ取りおよび解析
間接部門の社内基幹システム刷新による
業務効率化と標準化の推進

サステナビリティ視点での経営基盤の強化の取り組み

①環境配慮型商品および使いやすさを追求した製品の開発



- 💧 リサイクルを前提（分解可能な構造）とした製品設計・開発
- 💧 JIS認定された節湯水栓（エコ商品）の展開
- 💧 海外規格、海外環境規制に適合した商品の販売

センサー水栓



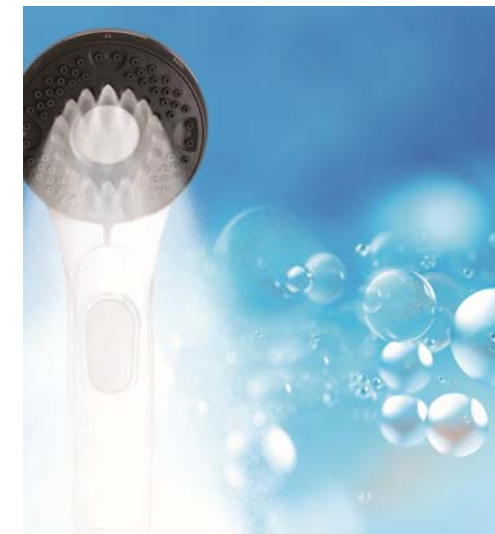
eレバー水栓



eシャワーヘッド

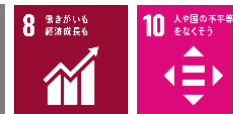


ワンストップシャワーヘッド



サステナビリティ視点での経営基盤の強化の取り組み

②多様な人財が活躍するためのキャリア形成支援の強化およびワークライフ・バランスの向上

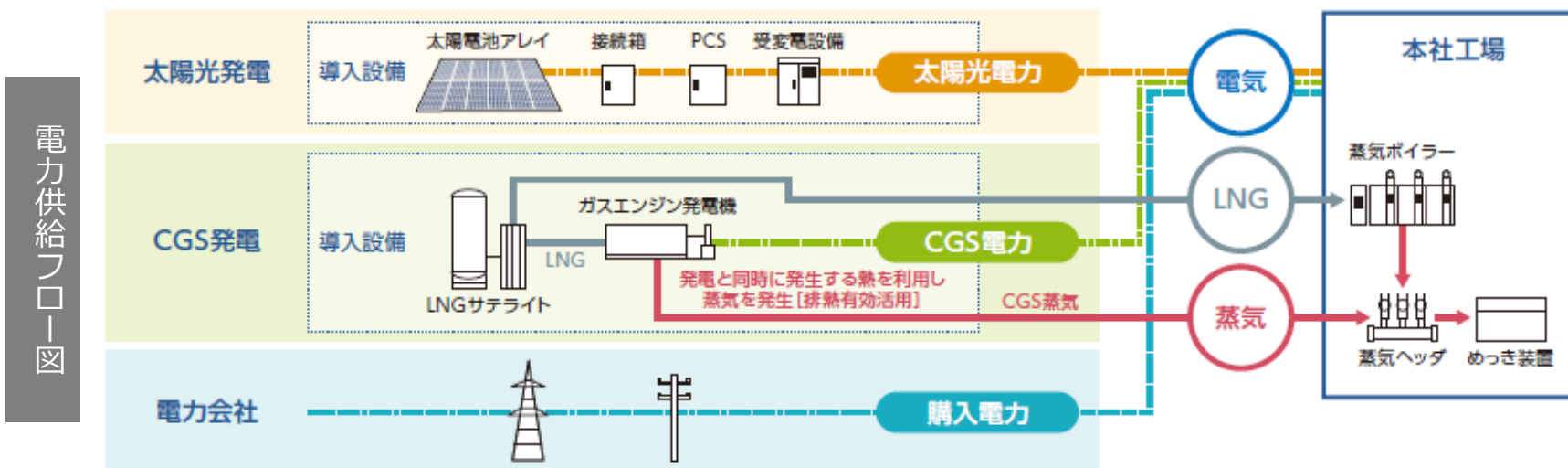


- 💧 次世代リーダーの育成
- 💧 中核人材の安定的な確保
- 💧 従業員エンゲージメント向上への取り組み
- 💧 男性の育児休暇取得率向上
- 💧 多様な働き方の選択肢

③生産活動における温室効果ガス排出の削減および環境負荷物質・廃棄物の削減とリサイクルの推進



- 💧 コージェネレーションシステム設備および太陽光発電パネルの安定稼働によるエネルギー使用量と二酸化炭素排出量の削減



サステナビリティ視点での経営基盤の強化の取り組み

④地域社会への参画と貢献



- ▶ 公益財団法人KVK福社会の運営
- ▶ 地域清掃活動の実施
- ▶ 地域交通安全活動の実施
- ▶ 地域行事への協賛
- ▶ ふるさと納税の運用

⑤透明性・健全性の高い経営体制づくりとそのチェック機能の充実



- ▶ リスク管理体制の強化
- ▶ コーポレート・ガバナンスの強化

2025年3月期業績予想

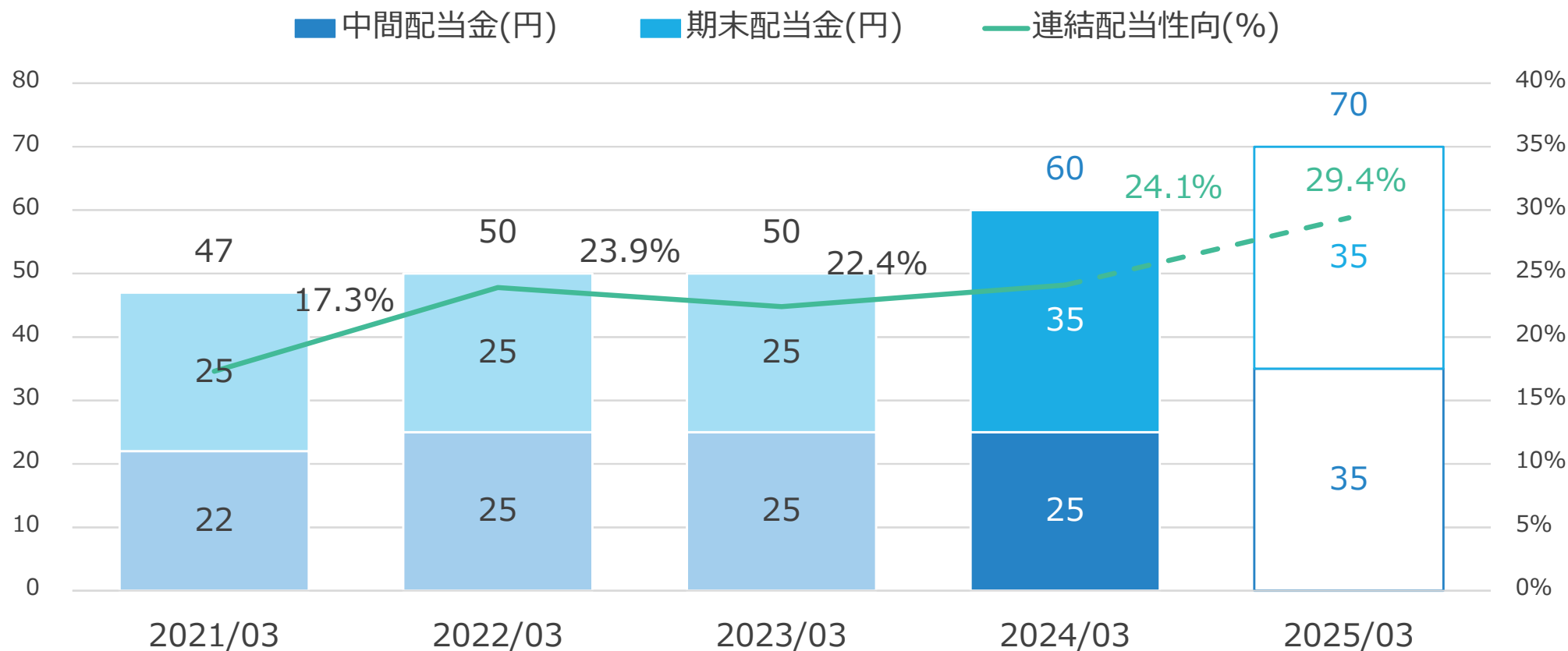
2024年4月からの価格改定効果が寄与するものの、原材料価格の高騰や為替変動リスクなど未確定な要因が多く、不透明な状況で推移するものと考えられ、増収減益と予想。

百万円	2024年3月期 実績		2025年3月期 予想		業績予想比			
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期		通期	
					増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	14,643	29,799	15,000	30,500	+356	+2.4%	+700	+2.4%
営業利益	1,102	2,530	1,250	2,600	+147	+13.3%	+69	+2.8%
経常利益	1,125	2,866	1,300	2,800	+174	+15.5%	▲66	▲2.3%
当期純利益	708	1,980	900	1,900	+191	+27.0%	▲80	▲4.1%

株主還元～配当の状況

期末配当は、普通配当を5円増配するとともに、創業85周年記念配当5円を加えた1株当たり35円とし、中間配当25円と合わせて年間で60円とする。

次期の配当に関しましては、中間配当35円、期末配当35円の年間70円に増配予定。



2024年3月期はKVK創業85周年記念配当5円を含みます。

株主優待

所有株式数 **100**株以上

- 当社製品を優待価格でご提供

所有株式数 **500**株以上

- 当社製品を優待価格でご提供



- 3,000円相当の入浴用品

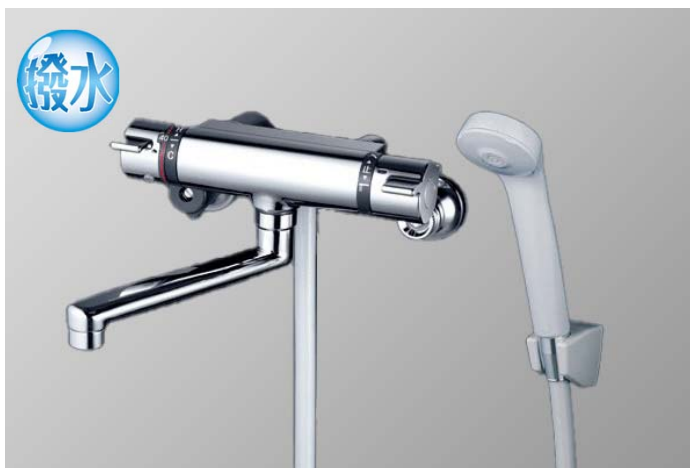


2024年度優待価格対象製品

hadamo
ウルトラファインバブルシャワーヘッド
(白) (めっき)

サーモスタット式シャワー
(eシャワーNf 撥水膜コーティング)

シングルシャワー付混合栓
(センサー付)



Vision2030



実現したい姿

KVKブランド価値を高め、世界中の人々から必要とされる
水まわりのリーディングカンパニーを目指します



- すべての人にとって使いやすく、
永く安全に使える製品、
サービスを提供し、
高いお客様満足度を実現します



- 温室効果ガスの排出量削減
および環境負荷物質・
産業廃棄物の削減を進め、
高効率な生産体制により
地球環境を守ります



- 「人間尊重」を基本に、
自ら学び、考え、行動し
新たな価値を創造できる
人財育成体制を構築します



- ステークホルダーに信頼される
ガバナンス体制を確立します
- Vision2030の実現と共に
連結数値目標を達成します





資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

PBRに関する現状認識

PBRとROEの推移

中期経営計画において目標としているROE10%に対し、2024年3月期のROEは7.7%。
PBRは一倍を下回る状況が継続しており、足元では0.5~0.7倍程度で推移。

PBR
(株価純資産倍率)

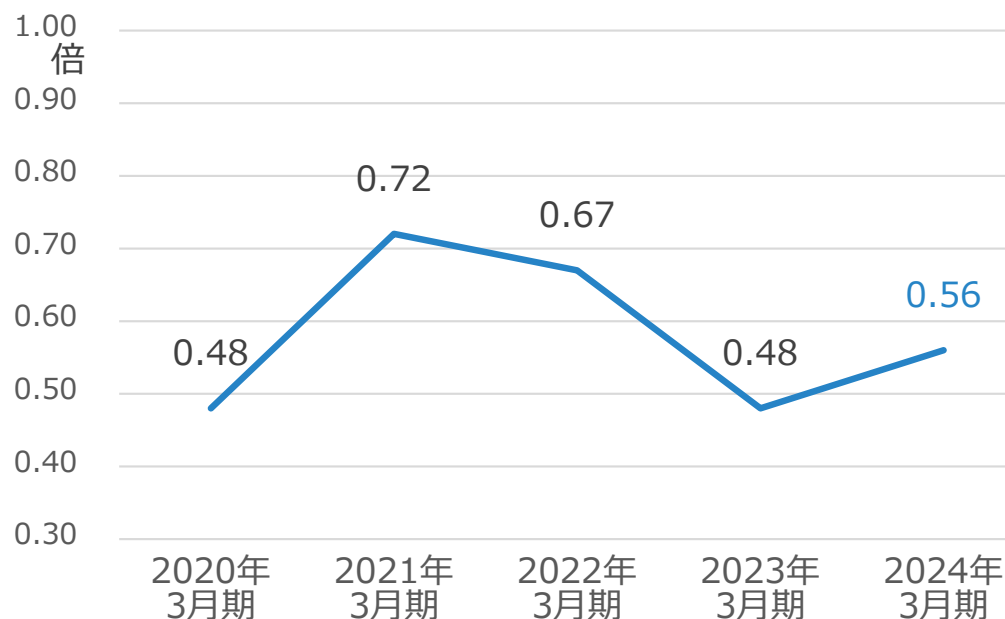
=

ROE
(自己資本利益率)

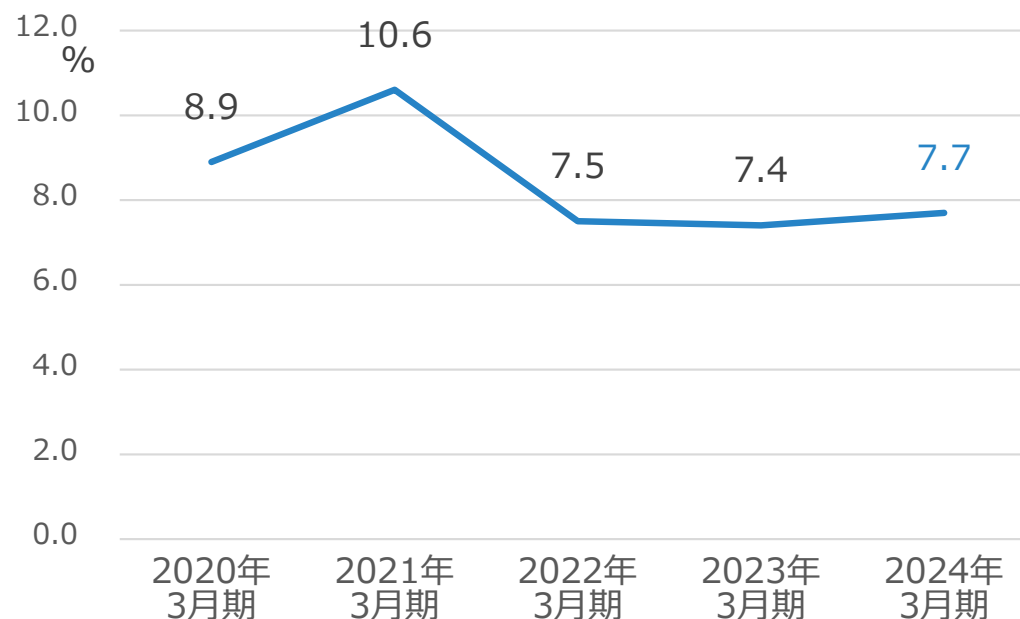
×

PER
(株価収益率)

PBR

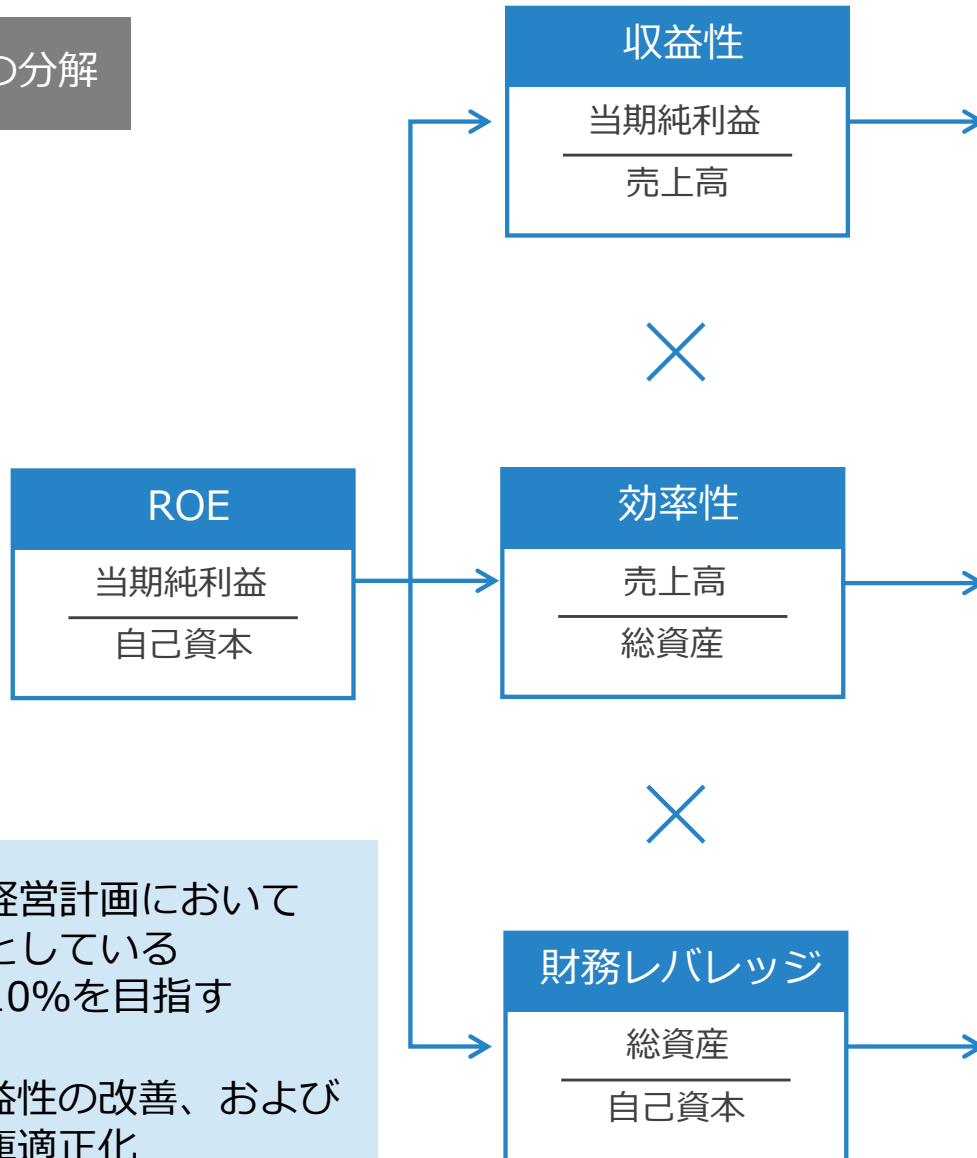


ROE



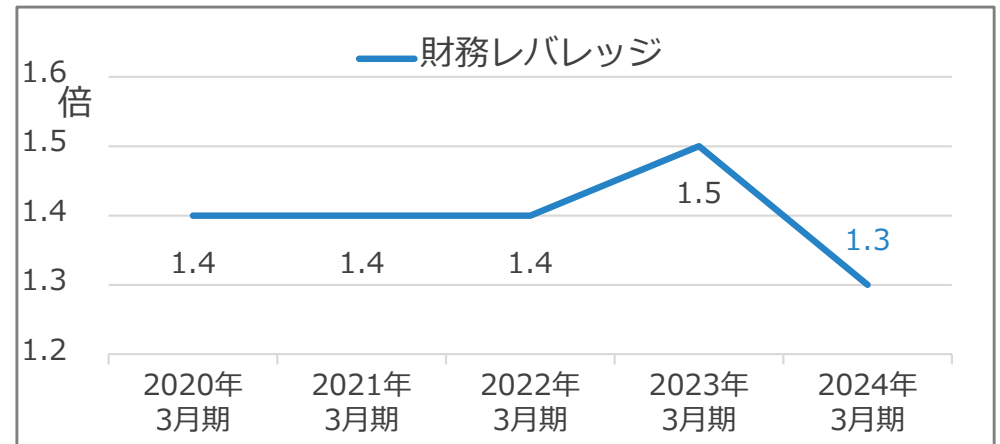
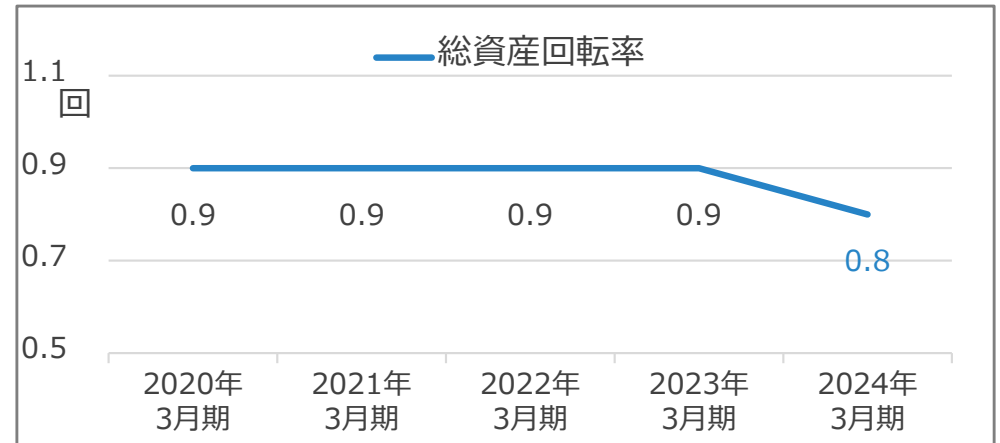
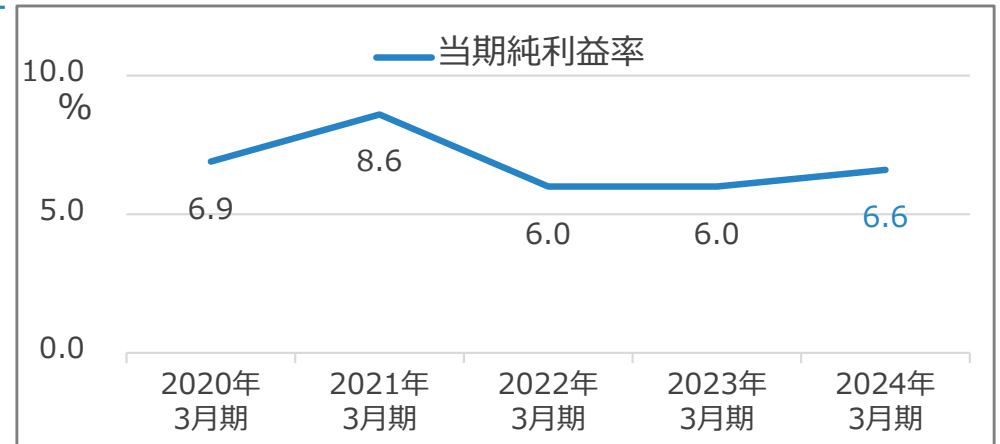
PBRに関する現状認識

ROEの分解



中期経営計画において
目標としている
ROE10%を目指す

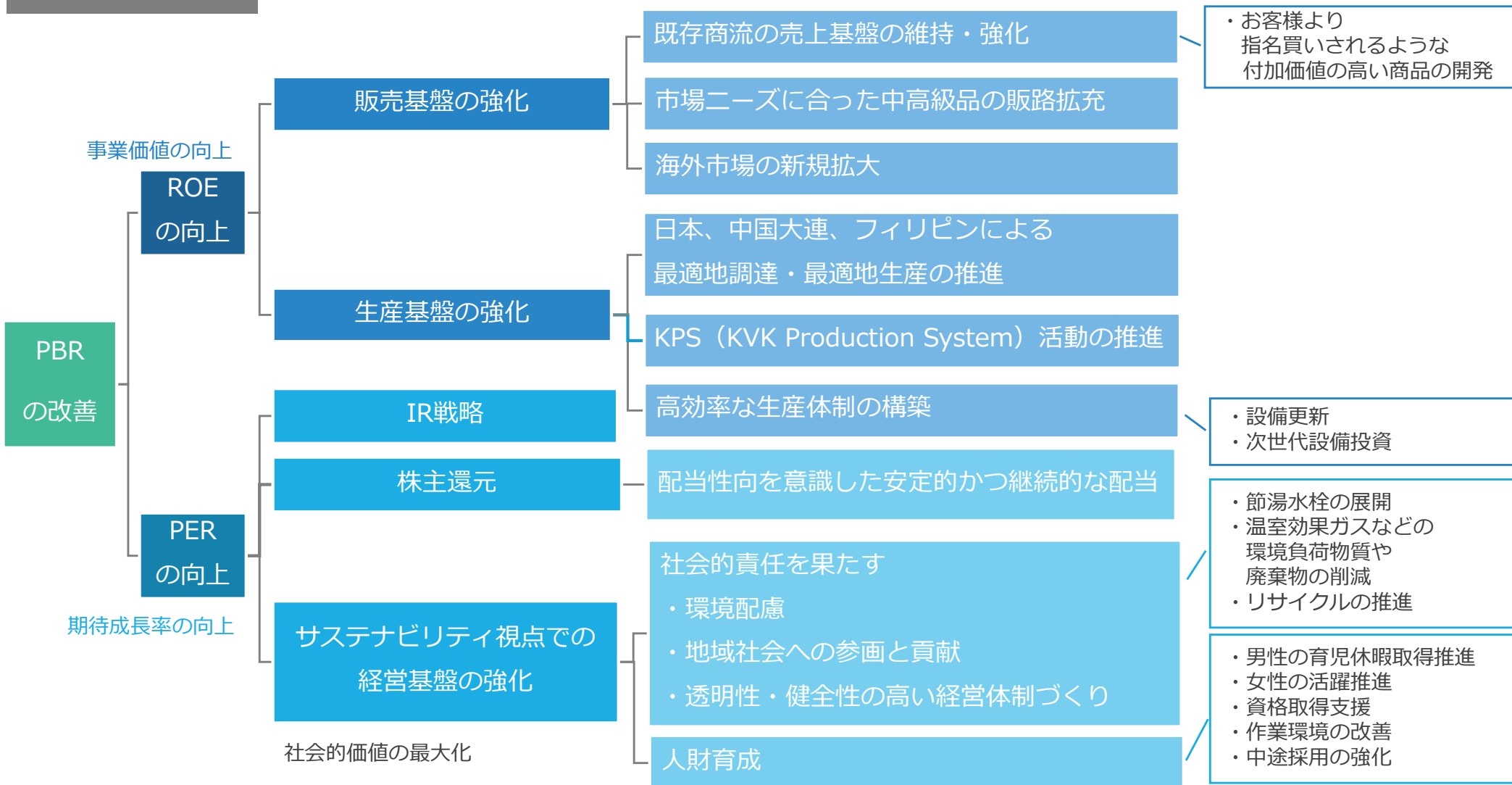
- 収益性の改善、および在庫適正化
- 配当性向を意識した株主還元



企業価値向上に向けた取り組み

事業価値と社会的価値を同時に実現すべく、中期経営計画に従って、2025年度の営業利益率10%、ROE10%の達成を目指しております。

$$PBR = ROE \times PER$$



社会的価値の最大化



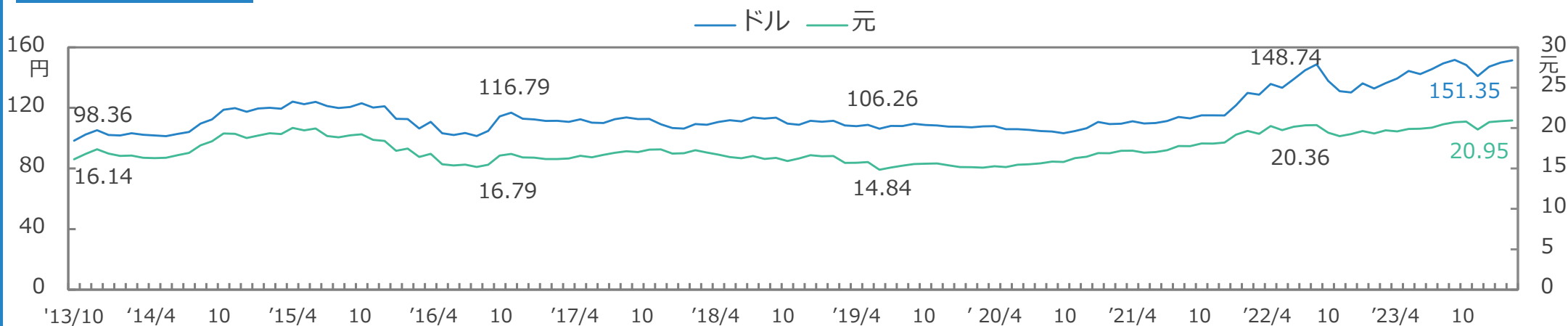
参考資料

為替・銅価格

為替は円安局面。
2023年度銅価格は、期首1,200円/kg代前半から期末1,300円/kg代後半へ上昇傾向で推移。

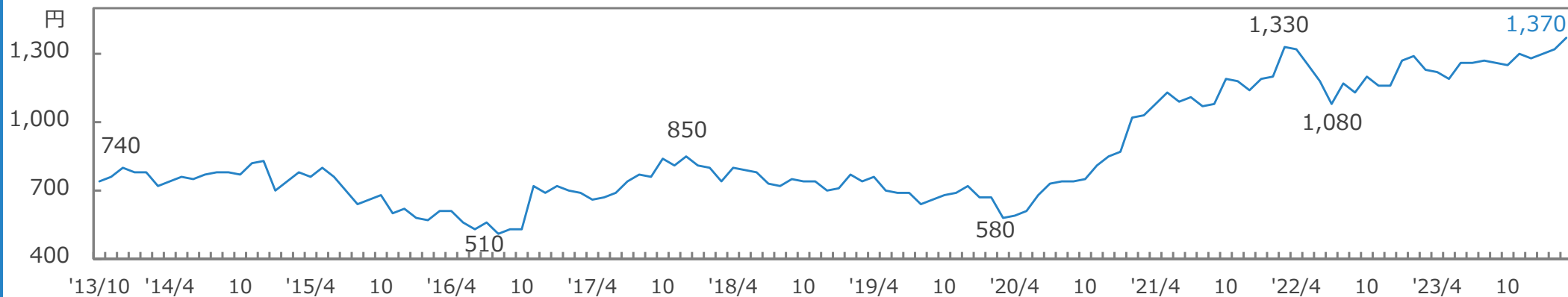
為替

月末終値



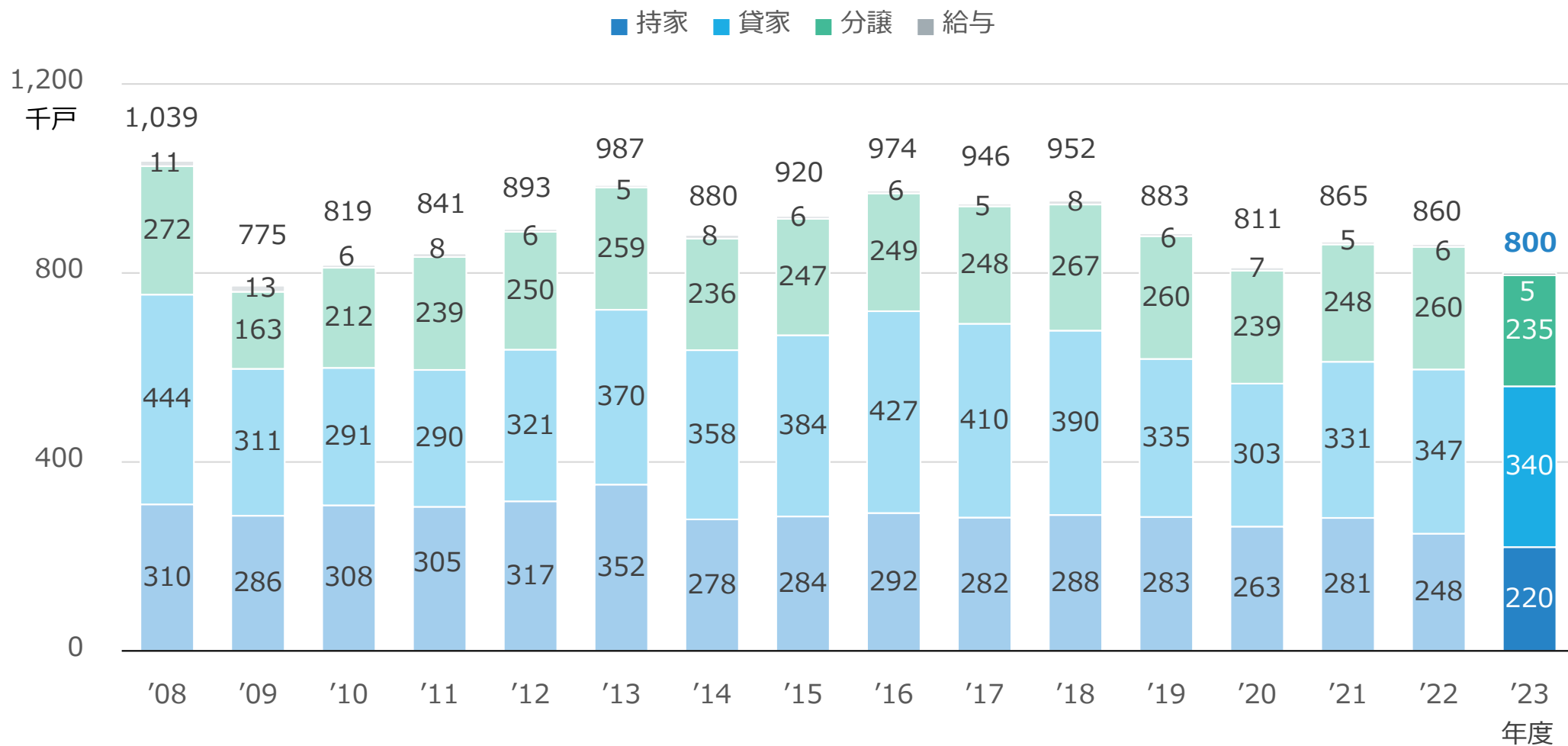
銅価格

月末の建値/kg



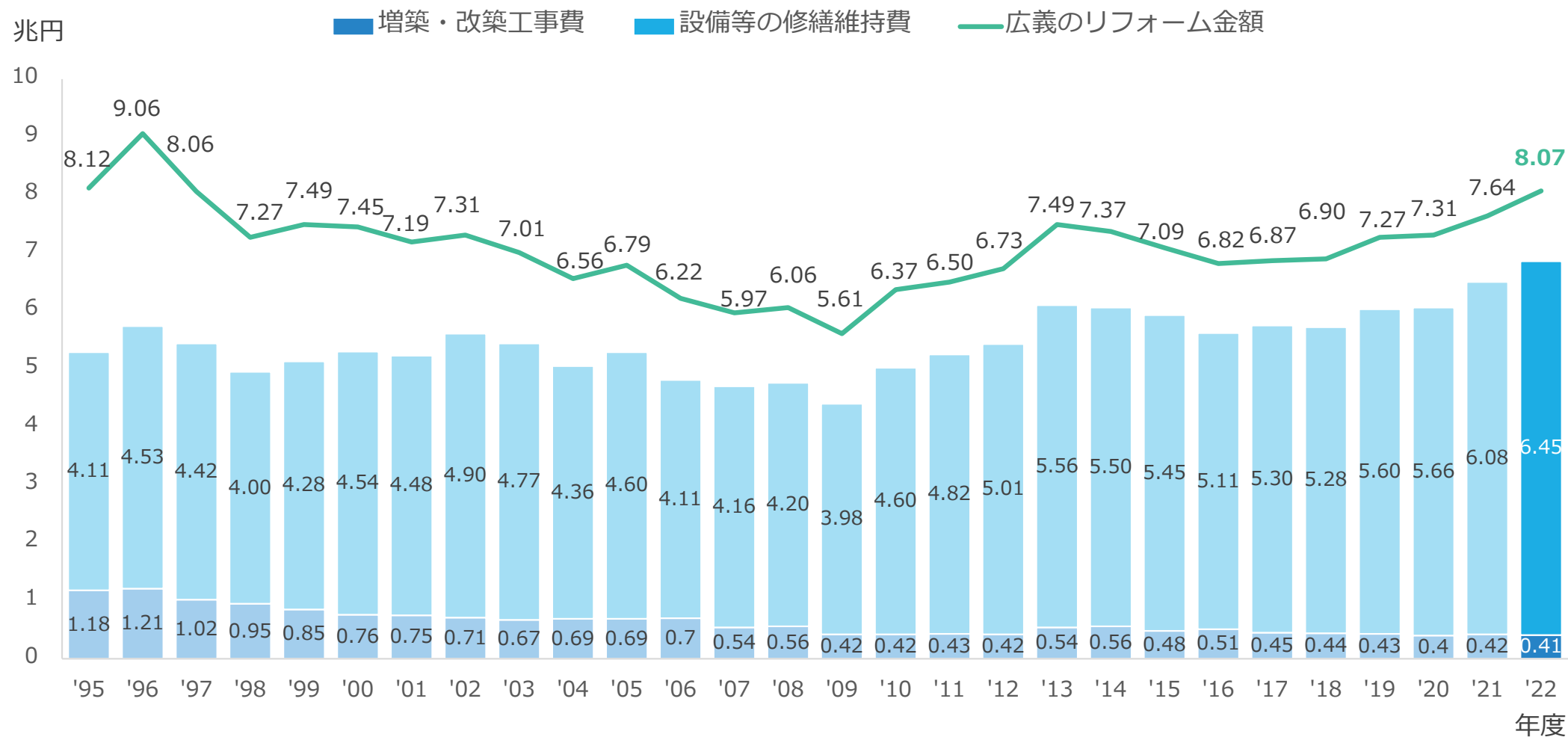
年度別新設住宅着工戸数

2023年度新設住宅着工戸数は、低調で推移し、80万戸（前年比▲7%）。



リフォーム市場

リフォーム市場は、堅調に推移。





Creating Value With You

お客様とともに“快適な水まわり”を創造する

Disclaimer
免責事項

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。
経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。